

平成27年度
事業計画書

平成27年3月
公益財団法人 ブルボン吉田記念財団

平成27年度事業計画

定款第4条に掲げる事業として、下記の事業を行います。

(1) 学資金の貸与又は給付

学力優秀でありながら経済的な事由等により修学が困難な学生に対する奨学援護。

目的：奨学事業を通じて、次世代を担うグローバルな人材の育成や公衆の教養の向上、心身の健全な発展に寄与する。

平成27年度計画

①奨学金の貸与

4月分から毎月15日に親権者預金口座に振込む。

対象者	人員	1名当年間貸与額	年間貸与額
大学生	3年・4年 (38名)	月額 20,000 円×12 か月 = 240,000 円	9,120,000 円
	2年生 (25名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	9,000,000 円
	1年生 (25名)	月額 30,000 円×12 か月 = 360,000 円	9,000,000 円
	合計 88名		27,120,000 円

②奨学金の返還

- ・平成27年3月卒業生を対象に、奨学金借用証書及び返還予定書を提出指示。
- ・平成26年度以前の卒業生を対象に、奨学金の返還指示及び諸通信の連絡。
- ・平成27年度返還額予定額 12,000,000 円

③第40回（平成28年4月進学）奨学生募集活動計画

- ・募集人員：大学生25名（新潟県出身者20名、山形県出身者5名）
- ・募集要項の発送 10月上旬
対象校：高等学校105校（新潟県93校、山形県庄内地域12校）
- ・募集締切：平成27年12月下旬
- ・第1次選考委員会：平成28年1月下旬
- ・2月上旬に選考結果を通知し、1次合格者のうち進学決定者を採用し、4月上旬に決定します。

(2) 文化資料館、博物館、美術館等の設置、運営

文化資料館「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営。

目的：平成25年9月に開館した「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営とその企画事業において、ドナルド・キーン先生の執筆・翻訳・教鞭活動に関する資料の収集・展示を通じ、日本文化や日本文学の素晴らしさを再発見する場を提供する。

なお、本年度から外部有識者による「ドナルド・キーン・センター柏崎事業検討委員会」の活動を本格化し、平成28年度以降の事業計画について提案をいただくようにいたします。

本年度の「ドナルド・キーン・センター柏崎」関連の事業計画は以下の通りです。

①ドナルド・キーン・センター柏崎の常設展示の運営

目的：キーン先生の今日までの歩みや仕事を常設展示し、来館者に日本文学を愛するドナルド・キーンという人間を知ってもらうと同時に、日本文学、日本文化の面白さ、素晴らしさを発見、認識してもらう。また、ニューヨークに存在したキーン先生の書斎を復元・展示して、90歳で日本人となったキーン先生の日本への愛を感じてもらい、日本と日本人を見つめ直す場とする。

年間250日を開館し、5,000人の来館を計画する。

(平成26年度実績予測3,900人)

【平成27年度計画】

- ・ 展示解説の向上～毎月、ボランティア勉強会を開催し、理解度を深めていく。
- ・ 導入展示コーナー映像の更新
- ・ 映像検索システム内の映像の更新を検討

②企画展の計画

目的：常設展示だけでは、伝えきれないキーン先生の多彩な文学研究の世界を、企画展示として紹介し、日本文学の魅力を、日本文化の素晴らしさを思い起こさせる一助とする。平成27年度は、春の開館時より、7か月間にわたって展示する特別企画展の他、10月以降には、3か月間の短期間で展示する企画展を開催する計画です。また、他館との共催企画展や出張展示会等、平成28年度以降に開催できるよう準備を進めて参ります。

【平成27年度特別企画展】

・「太平洋戦争とドナルド・キーン」展

～戦死した日本兵の日記に感動、日本文学研究者への原点～

2015年は、太平洋戦争終結70年という節目の年です。

キーン先生が、自らの人生を決定づけたという太平洋戦争に、どのように関わったのか、どのような日本語教育を受けて、日本文学研究の道に進んでいったのか、遺されている資料やエピソードを複製展示し、キーン先生の日本と日本人への想い、平和への想いを見つめてまいります。

期間：平成27年3月10日（火）～同年9月27日（日）

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎2階特別企画展室

この企画展には、下記の法人、団体からのご後援をいただき、開催いたします。

後 援	新潟県、新潟県教育委員会、柏崎市、柏崎市教育委員会 読売新聞東京本社、新潟日報社、BSN新潟放送、NST TeNYテレビ新潟、新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟 柏崎日報社、柏新時報社、柏崎コミュニティ放送
協 力	株式会社ブルボン

【平成27年度企画展】

・(仮)「三島由紀夫」展

今年は、キーン先生の無二の友であった三島由紀夫の生誕90年、そして生涯の幕を閉じて45年の年でもあります。

彼の作品やドナルド・キーンとの書簡等を展示することで、偉大な作家三島由紀夫と三島の文学を高く評価したキーンとの交流を紹介する予定です。

期間(予定):平成27年10月1日(木)～同年12月25日(金)

会場(予定):ドナルド・キーン・センター柏崎2階特別企画展室

【他館との共催による企画展】

・群馬県立土屋文明記念文学館:「角田柳作」展(平成28年10月開催予定)

ドナルド・キーンの恩師角田柳作先生の出身地である群馬県にある群馬県立土屋文明記念文学館20周年記念企画展の「共催」について具体的作業を進行して参ります。当ドナルド・キーン・センター柏崎での開催は平成29年3月以降の予定です。

【出張展示会】

記念館・文学館以外の人が集まる施設(例:百貨店、企業ロビー等)にてドナルド・キーン・センター柏崎の所蔵品を展示することで、ドナルド・キーンや日本文化、日本文学の造詣を深めることを目的に開催する。

平成27年度については、各地で開催されている出張展示の実態を把握し、平成28年度以降の開催にむけての検討を開始する。

③講演会の計画

目的:「ドナルド・キーン・センター柏崎」から発信される日本文化や日本文学の素晴らしさ、おもしろさをより具体的に公衆の皆様にお伝えし、理解していただき、教養として身につけていただくことを目的として開催する。また、特別企画展の展示内容の深掘りし、特別企画展の展示の理解度を高めることをも目的とする。

【平成27年度講演会】

「ドナルド・キーン・センター柏崎」開館2周年講演会

ドナルド・キーン「思い出の作家たち」(予定)

センターの開館2周年を記念して、協賛社を幅広く募り、9月21日に開催を予定。昨年、キーン先生に名誉市民の称号を授与した柏崎市と市内の中学生への平和学習教育の一環として共同開催する。

また、キーン先生の「東北を忘れない」というお気持ちを受けて、講演会の入場料等の収益の中から、東日本大震災の被災地にキーン先生推薦図書5冊～10冊程度を4町に寄贈する。

会場:柏崎市文化会館アルフォーレ

入場料:大人 1,000円(公益目的事業収益)

工程:27年 3月

実行委員会立ち上げ

予算案の作成

4月

講演会内容(案)の作成→キーン先生へご提案、決定

講演会企画書による協賛社募集

5月下旬 チラシ、ポスターの制作・配布
6月下旬 講演会開催告知開始
8月中旬 広告掲載
9月21日 開催

⑤センター主催：定期セミナー計画

目的：常設展示や特別企画展の展示内容の深掘りやドナルド・キーン先生が永年にわたり、研究されてきた日本文学や造詣が深いオペラ等に関するセミナーを定期的で開催し、市民の文化意識の向上とともに、ドナルド・キーン・センター柏崎の永続性を高める。

【平成27年度計画】

・特別企画展関連「ミニ講演会」

特別企画展のテーマに関連した講師をお招きして開催。27年度は、5月と7月に開催の予定。

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

定員：50名

受講料：500円（公益目的事業収益）

今年度は、特別企画展「太平洋戦争とドナルド・キーン」展に関連し、以下の企画を計画しています。

5月：(仮)ドナルド・キーン わたしの日本語修行 講師 河路由佳氏（予定）

7月：(仮)日本兵の遺した手記について 講師 未定

・「オペラ講座」

平成25年以来、柏崎音楽協会のご協力を得て、10月～12月の3か月間にて3回の講座を開催。本年についても、キーン先生やキーン先生のご友人から寄贈されたオペラのレコードをテーマとして取り上げ、開催する。

時期：7月、10月、11月の3か月間にて3回の開催（7月にはキーン先生をお招きしての開催を検討）

協力：柏崎音楽協会

・記念講演会関連「朗読会」

今年は、キーン先生の無二の友であった三島由紀夫の生誕90年、そして生涯の幕を閉じて45年の年でもあります。

9月21日の記念講演会「思い出の作家たち」の中で、語られる三島由紀夫について彼の作品の朗読会を行い、作家三島由紀夫を偲びます。

時期：11月（予定）

⑥研究活動計画

- ・展示資料及び収蔵資料の一覧化とHP上での情報公開をすすめる。
- ・展示資料及び収蔵資料についてのキーン先生とのつながり（縁）の調査をすすめる。
- ・館報の作成準備。

⑦PR活動計画

- ・広報誌、雑誌とのコラボレーションによるPR活動。
JR東日本企画「大人の休日倶楽部」会員むけご招待企画
(内容) 9月21日記念講演会に100組200名をご招待
「大人の休日倶楽部」8月号に記念講演会告知記事を掲載
- ・主要高速道路SA・PAでの特別企画展チラシ設置によるPR活動。
(内容) 4月25日～5月8日 三芳上下、高坂上下、上里上下、横川上下にて
特別企画展のチラシやポスターを設置
チラシ4か所各800枚 ポスター5か所各1枚
- ・旅行会社にむけて、パンフレットを発送。旅行社との連携により、柏崎や新潟県内の「食」や他、観光スポットを巡る観光企画の誘導(柏崎市観光交流課、柏崎観光協会の協力も必要)を検討する。
- ・全国の大学の文学系学部へのパンフレットの配布。
- ・柏崎市の観光シャトルタクシーへの協力(10月、11月)
- ・柏崎コミュニティ放送「柏崎発! ドナルド・キーンの世界」や広報かしわざき「コレクション紹介」の継続により、地元での当センターの周知とキーン先生の理解度を深める。

⑧地域連携への強化活動

目的: ドナルド・キーン・センター柏崎が有するキーン先生由来のコンテンツを市民の皆様にも有意義に活用していただき、文化意識の向上に貢献する。

【平成27年度計画】

柏崎市中学生平和学習教育への協力

戦後70年の節目の年にあたり、柏崎市が行っている中学2年生を対象とした平和学習教育に協力することで、柏崎市との連携強化と次世代の来館を促進し、ドナルド・キーンを超える人材の育成に貢献する。

(内容) 9月21日記念講演会への中学生ご招待(平和学習教育の一環の位置づけ)

4月～6月の3か月間にて、市内中学2年生のセンター見学会を実施

古典を読む会公開講座開催への協力

つるおかルネッサンスの会朗読会開催への協力

⑨ボランティア組織の活動への協力

ドナルド・キーン・センター柏崎の日々の運営に協力していただいているボランティア組織のイベント活動に協力することで当センターの周知と集客につなげる。

気軽に立ち寄れる雰囲気作りとトライヤル客の獲得を目的とする。

(主な協力内容) 場所の提供

HP等での告知

イベント参加者の展示見学希望者への団体割引適用

(計画されているイベント等)

勉強会

野点（春・秋）
ロビーコンサート
生花等各種講座

（３）文化・芸術・体育等に関する振興活動

目的：教育及び文化・芸術・体育等への振興に関する助成・協賛を行い、広く、教養の向上及び心身の健全な発展に寄与する。

① 文化芸能・スポーツ振興に対する助成事業(公募)

目的：文化芸能・スポーツイベントへの助成を通して、次世代への継承や次世代の育成及び公衆の心と身体健康増進に貢献する。

平成27年度計画

- ・「助成金給付規程」（H25.5.22理事会承認）に基づき、事業検討委員の決定
- ・担当理事による助成金給付実施要項の作成
- ・平成27年5月理事会承認
- ・公募～選考
- ・理事会承認（11月）
- ・通達
- ・平成28年2月、3月助成金の給付

*本年度の事業においては、運営資金・運営要員の不足という実情を踏まえ、実施いたします。

（４）公益目的事業に関連する物品販売（収益事業）

当財団の公益事業における「ドナルド・キーン・センター柏崎」にて、センター専用商品として製作したオリジナルグッズやキーン先生関連の著作本や翻訳本をセンター内にて販売します。

販売商品

当センターオリジナルデザイン付きグッズ、図録の販売

当センターの専用ロゴ（キーン先生直筆）を印刷した商品の販売

キーン先生の著作本・翻訳本の販売

キーン先生に関するDVDの販売の検討

目標値

購入者目標人数 900人

（5,000人×18%：26年度の購入者比率実績より）

事業収入目標額 1,125,000円

（900人×1250円：26年度の1人当購入金額実績より）

(5) 管理部門の計画

- ① 事務局内人材（学芸員）の育成と施設管理者（館長候補）の採用。
- ② 新理事、新監事の選任。
- ③ 規程類の整備及び再確認。
- ④ 事業検討委員会による「ドナルド・キーン・センター柏崎」の中長期にわたる運営計画の策定。
- ⑤ 安定した財団運営のための事業資金の調達と資産の整備。
- ⑥ 地元主導、地元への貢献体制の確立。
- ⑦ その他

上記の事業等を実施するにあたり、「平成27年度収支予算」は次項に記載。